

令和7年度 学校評価表

(中間・期末)

大崎上島町立木江小学校

学校教育目標	「自分で考え 進んで行動する 木江っ子」	経営理念 ミッション・ビジョン	<p>【ミッション】(自校の使命)「大崎上島町教育推進プラン」を推進し、知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育を実現することで、大崎上島の将来を担うたくましく生き抜く子供を育成する。</p> <p>【ビジョン】(学校の目指す姿)・自ら学び、進んで行動する子供。思いやりの心を持ち、素直で明るい子供。進んで体をきたえ、ねばり強い子供、ふるさと(大崎上島)が大好きな子供を育てる学校</p> <p>・子供を大切にし、授業力の向上を目指し、個性を生かしながらチームで協働し、高め合う教職員</p> <p>・保護者や地域からこの学校に通わせてよかった、応援してよかったと思わせる学校</p>
--------	-----------------------------	--------------------	--

評価計画					自己評価					学校運営協議会委員	改善方策
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	評価項目・指標 (効果をみとる目安)	目標値	達成値	達成度	評価	担当部 責任者	結果と課題の分析	コメント	改善方策
確かな学力	児童の主体的な学びを創造する。	◎主体的に学習に取り組む態度を育成する。	○児童どうしの対話を中心に考えを深め、課題解決に向けて協働して学習に取り組ませる。	学期毎の児童の自己評価と教師評価	教師85%				教務研究部 (須賀) (望月)		
		○各種学力調査の目標値を達成させる。	○少人数指導や複式学級の指導のよさを生かし、児童一人一人にきめ細かい指導を行う。	標準学力調査	全国平均+5ポイント				教務研究部 (須賀)		
豊かな心・健やかな体	基本的生活習慣を確立する。	◎気持ちのよい挨拶や返事ができる。(社会技能の育成)	○ソーシャルスキルトレーニング「ほかほか朝会」(毎月1回)を企画し、社会技能の育成に取り組む。	各回で目標が達成できた児童の割合	80%				保体生活部 (上川)		
		◎健康的な生活について理解を深め、実践できる力を育成する。(自己管理能力の育成)	○基本的な生活習慣定着に向けて、児童一人一人に具体的な目標を設定させ、自己管理ができる児童を育成する。	目標が達成できた児童の割合	85%				保体生活部 (大政)		
	◎運動に楽しんで取り組むことができる児童を育成する。	○児童一人一人が具体的な目標を設定し取り組ませることにより、意欲を高める。	年間2回以上	100%					保体生活部 (上川)		
信頼される学校	学校や地域を誇りに思う児童を育成する。	◎「大崎上島学」を推進する。	○ふるさと「大崎上島町」の学習を通して、地域を誇りに思う児童を育成する。	・児童の自己評価	児童90%				教務研究部 (望月)		
			○地域の人材・自然・文化・伝統などを「島まるごと教材」として教育内容に位置づけ、活動を行う。	・教師評価	教師100%						
	開かれた学校づくりに努める。	○地域の方の来校の機会を増やす。	○学校環境の整備など、学校だよりや地域回覧でよびかけ、地域の方と共に活動し、交流の場を作る。	教師評価	教師100%				教頭		
業務改善を図る。	○児童と向き合う時間を確保し、長時間勤務の減少を図る。	○業務の進め方の改善を図る。	○個別業務の精選・省力化の工夫を図る。	教師評価	教師90%				教頭		

本年度の重点目標については◎印で示す。

【自己評価】
A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100